



日本共産党
参議院議員

紙 智子

国会報告

TPP・
農協等
「改悪」

総選挙で躍進し、論戦力アップ

総選挙で躍進し、衆議院の農林水産委員会で9年ぶりに複数委員を確保しました。安倍首相が改革断行の第一に掲げた農協・農業委員会「改革」案は、国会で50時間以上論戦しました。与党推薦の参考人からは「だまし討ちにあったようだ」、与党議員からも「現場の実態からずれている」との声も。紙議員は、農家の自主性をうばい官邸主導の改革を押しつけるもので、家族経営を基本にする日本の農業と農村の将来に禍根を残す改悪だと主張しました。環太平洋連携協定(TPP)でも、情報公開を求める声を無視し、譲歩につぐ譲歩を重ねる暴走政治と対決しました。



語録

- ▶ 安倍総理は農協改革が「農家の所得を増やすための改革だ」と言いましたが、林芳正農水相は「この改革をやっただけで農家の所得があがるとは考えていない」。
- ▶ TPPの秘密保持契約について「(過去に)秘密保護に関する書簡、契約を交わした例はない」(斎木尚子外務省局長)
- ▶ 自らコメ5万トンの譲歩案を公表したことに「何も言わないわけにはいかない」(甘利明 TPP 担当相)「コメントは差し控える」(安倍総理)

国民連合
政府の
提案の実現を



戦争法を廃止するための国民連合政府を提案し、政党、団体、個人と懇談を行っています。

自治労連と「国民連合政府」の提案で懇談

震災復興・
原発被害

被災地、被災者の切り捨てを許さず



東電本社前で賠償打ち切りするの抗議行動

東日本大震災から4年8ヶ月、被災地ではいまだ約20万人が避難生活を強いられ、復興はまだ道半ばです。

紙議員は、復興予算の用途の見直しを求めるとともに、復興のブレーキになる自治体負担の押しつけはやめるよう要求しました。

避難指示区域内の就労不能賠償の打ち切り問題や自主避難者への住宅提供に国が県に圧力をかけたと報道された問題などを追及しました。また、被災者・住民の健康調査に国が責任を持って支援すべきだと要求しました。

語録

- ▶ 復興予算で防衛省が武器を買っているとの追及に「武器とおっしゃいましたが、違和感を覚えます」(竹下亘復興相) (予算書に武器と書いてであると発言あり)
- ▶ 農作業による被災防止策をとらない国の姿勢に「復興庁が他の省庁を叱り付けることは出来る」(竹下亘復興相)

農林水産委員会

- 政治とカネ問題で就任直後の西川公也農水相に安愚楽(あぐら) 牧場からの献金疑惑等を追及し、辞任に。林芳正農水相に税金の還流疑惑を追及(3/26 など)
- 都市の農地と農業を都市づくりの重要な柱に位置づけるよう求めるとともに、農地税制の抜本的な改善を要求(4/7)
- 経営が困難な馬産地の実態を示し、対策を求める(4/16)
- 「農林水産統計の品質と精度維持を確保するため、これ以上の調査内容の削減や人員等統計資源の縮小に歯止めを掛けるべきだ」とする内閣府統計委員会の意見書を示し、農水省の責任を追及(5/21)
- ジャガイモ・シロシストセンチュウの被害まん延防止対策を求める(8/25 など)
- 耕作放棄地への課税強化は税の公平性に反すると指摘し、耕作放棄地の増加を防止する支援策こそが必要だと追及(9/8)
- 独立行政法人の運営交付金の削減問題や常勤職員から不安定な任期付き職員への置き換えが進んでいることを指摘し、雇用の安定を求める(9/10)

現場とともに 論戦ハイライト

地方・消費者問題に関する特別委員会

- 農地の転用権限をすべて地方自治体に移譲することは、国の責任を後退させるものと追及(6/17)

沖縄北方特別委員会

- 米軍基地が沖縄の自立的な経済発展を阻害していると追及(3/25)

国際経済・外交に関する調査会

- 食料を輸入に依存している日本の現状を変え、国内生産を高めて自給率をあげることは、世界の飢餓人口をなくしていく上でも必要だと主張(4/22)

災害対策特別委員会

- 関東・東北豪雨災害を受けて急がれる避難所、医療、災害廃棄物対策、共済の対象にならない収穫米の支援を求める(9/24)



茨城県常総市の農家にて=9月21日

辺野古の新基地建設をやめよ



名護市辺野古のボーリング現場視察=2月24日

翁長雄志沖縄県知事は、サンゴ破壊の調査をするために、作業停止を指示。ところが、沖縄防衛局は行政不服審査請求。紙議員はオール沖縄の民意を無視する国の姿勢に抗議するとともに、水産資源の保護を図る農林水産省は、サンゴ礁の破壊に手を貸すべきでないと追求。

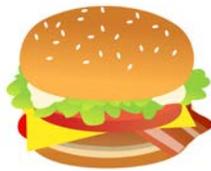
日ロサケマス、沿岸漁業

ロシアで200カイリ内のサケマス流し網漁を禁止する法律が成立した問題で、菅義偉官房長官は、日ロの漁業協力について引き続き適切に対応していくと答弁。また、紙議員は地域経済を支える沿岸漁業の支援を求めました。



全国漁民連役員の皆さんと懇談

ハンバーガー異物混入、食の安全を求める



マクドナルドで相次いだ異物混入、女兒が口内にケガをしましたが混入の原因究明は一部のみ。労働者からの聞き取りをもとに、労働環境にまで立ち入った原因究明と対策を求めると、農水相は、「品質管理の徹底に努める」と答弁。

林業女子会の支援を求める

2010年に京都府で始まった「林業女子会」、今では17都府県にひろがりました。

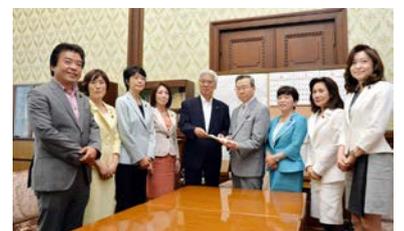
農水相は、女性の活躍が加速化される取り組みにしていくと答えました。



和歌山県で林業問題を調査=10月13日



日本と長野の農業を考えるシンポジウム
=2月14日



選択的夫婦別姓を盛り込んだ民法改正案を
参院に提出=6月12日